

様式 4

令和 3 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子白鳳高等学校
校長 椿 幾雄

評 価 日	令和 4 年 2 月 1 5 日 (火)
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ・自己評価については妥当であるという意見がある半面、4 本の重点目標に向けて最大限の努力をしており評価をもっとあげてもよいという意見もある。 ・伝統文化の継承、体験を重視した学びの充実など多彩な取組は評価できる。地域との交流を図りながら、生徒の社会に出た後の力をつけさせてほしい。 ・学校内託児・通級における指導は、対象生徒は少人数ではあると思うが、大変意味があり有意義な取組である。 (2) 説明・公表について ・授業のユニバーサルデザイン化や校内託児室の設置など定着している事業をもっとアピールすることにより、利用者の増加に繋がることを期待する。 2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ・特に「ふるさと」とつながる心の育成においての体験活動・地域交流では、生徒は経験することで自信になったのではないかと。これからも積極的に進めてほしい。 3. 取組改善のための提言 ・来年度は CS の良さを生かし淀江町や他機関連携をすることで、教職員が学校の教育に集中できる仕組みを作られると良い。 ・今後はタブレットや ICT 機器を用いた学習の比率が高くなると思われる。各教員が使いこなせる技術を身につける必要がある。	・今後も地域に開かれた学校として、地域の方々の助けをいただきながら生徒の心の育成に努めていきたい。 ・本校ならではの事業の更なる充実を図っていきたい。 ・学校運営協議会の初年度であったが、参集できたのは 1 回だけであった。来年度は直に説明し助言を求めたい。 ・校内託児室のチラシを HP に掲載したが、今後は県の関係機関などにも周知していきたい。 ・淀江地区の人々との交流や、生徒が地域文化・伝統への関心を深め、参画していくなど、地域の素材を活かした教育活動を更に推進していく。 ・学校 ICT 環境下での新しい学びのため研修等を通じて教員のスキルアップ向上を図る。